



朝風

平成30年度
学校報2月号②
大仙市立
大曲南中学校

一般選抜倍率確定

志願変更も終わり、各校・各学科の倍率も確定しました。例年と比べて倍率が低い傾向にあります。でも、心の中でガッツポーズをとった生徒がいたとしたら、甘い！と言わざるを得ません。定員よりプラスになっていなくても、点数が…なら…という残念なケースが毎年のようにあるからです。ガッツポーズは後にとっておいて、今まで通りに頑張らしましょう。

きっと合格



廊下に置かれた応援ボード

13日の午後

両小学校の6年生が1日入学で来校しました。先輩方の「技術」「社会」「国語」の授業参観⇒英語の授業を体験⇒「南中の1年間」についての説明を聞くという流れでした。新年度準備も着々です。



なお、一緒に来てくださった藤木小学校の谷口校長先生からは「1年生があまりに別になっていてびっくりしました！」とお褒めの言葉をいただきました。1年生も新年度を迎える準備ができています。

3年生がミサ先生を泣かせた

3年生の英語の教科書の終わりの方に、「中学校生活～これまで取り組んできたこと、これからしたいことについて5文以上で発表しよう。」という単元があります。その単元の学習で3年生が綴った短文を読んでいたミサ先生が「すごい！」「感動する！」「泣けてきちゃう…」と（日本語で）隣の席の鈴木先生に語りかけました。

この時期、とすれば授業で提示されたモデル文を大いに参考にして文を作成する生徒も少なくなく、オリジナリティに欠けることも多いそうです。しかし、南中の3年生は「大いに参考」にはせず、時間をかけて3年間の思い出や将来への思いを自分の言葉で一生懸命に表現していたとのことでした。その真摯な態度にミサ先生は心を打たれたのです。



(添削指導中のミサ先生)⇒

ようこそ先輩

南中第46期生の篠原さん（高校3年生）が、「高校生助手派遣プログラム事業」で、週に3日母校に来て、教室に入ったり、先生方のお手伝いをしたりと頑張っています。元バスケット部主将、理数科目が得意ということですから、在校生の皆さん、様々なアドバイスをいただきましょう。



第2回学校評議員会 兼 学校関係者評価委員会



今年度は、地域にお住いの若林邦夫さん、高階美智子さん、鈴木直道さん、小松國夫さんの4名の皆さんに学校評議員をお願いしています

今回は、今年度の経営方針を説明するとともに、郡市総体の壮行会を見ていただきました。今回は、一連の学校評価の※の部分をお願いしました。

学校の「自己評価」結果についてさらに評価していただき、客観性と透明性をもたせるためです。委員の皆様からは「自己評価は妥当であるどころか厳しいくらいである。」との意見をいただきました。

